

# 製品安全データシート

会社名 : 本多電機株式会社  
 住所 : 福島県いわき市小名浜島字高田町21  
 担当部門 : いわき工場生産部品質管理課  
 担当者 : 柴田裕之  
 電話番号 : 0246-58-3813  
 FAX番号 : 0246-58-3814  
 作成 2001年 2月 22日

製品名	和名 英名	陽極活物質 Positive Active Material
物質の特定	単一製品・混合物の区別 化学名 主たる成分及び含有量 主たる化学式または構造式 官報公示整理番号 CAS No. 国連番号	混合物 水酸化ニッケル混合物 Ni 45 %以上 $Ni(OH)_2$ 1-417 12054-48-7 国連の分類の定義上危険有害物に該当しない。
危険有害性の分類	危険性 有害性  環境影響	不燃性であり特に危険性はない。 OSHA有害性リストに記載 有 OSHA発がん性物質リストに記載 有 NTP発がん性物質リストに記載 有 データなし
応急処置	皮膚についた場合  眼に入った場合  吸入した場合  飲み込んだ場合	直ちに汚染された衣服や靴を脱がせる。 直ちに付着部又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。 直ちに多量の水で15分間以上洗い流し医師の診断を受ける。 直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいさせる。 毛布等で保温し安静にさせ、多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせる。速やかに医師の診断を受ける。

火災時の処置	消火方法	不燃性ではあるが、周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
漏出時の処置		・できるだけ掃き集めて空容器に回収した後、漏洩した場所は水で十分に荒い流す。
取扱及び保管上の注意	取扱	： 眼、皮膚等に付いたり吸入したりしないように適切な保護具を着用する。
	保管	： 直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。
暴露防止措置	許容濃度	産業衛生学会 1 mg/m <sup>3</sup> (Niとして) (1992年度版) ACGIH 0.5 mg/m <sup>3</sup> (Niとして) (1992年度版)
	設備対策	粉塵の発生する場所は密閉化するか、又は局所排気装置を設置する。 又、取扱所の付近に洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
	保護具	必要に応じて保護眼鏡、保護手袋、防塵マスクを着用する。
物理／化学的性質	外観	： 黒色粉末 (水酸化ニッケルは淡緑色粉末)、無臭
	揮発性	： なし
	沸点	： 分解
	融点	： 230℃で分解
	かさ密度	： 1.025 (g/cc)
	密度	： 水酸化ニッケルとして3.65 (g/cc)
	溶解度	： 1.3×10 <sup>-3</sup> g/100 g (H <sub>2</sub> O 20℃)
	その他	： アンモニア水に可溶
安定性、反応性		通常の使用においては安定である。

---

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性	: 情報なし
刺激性（皮膚・眼）	: 眼に入れると、眼が刺激される。
急性毒性	: 粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激される。 : マウスにて皮下注射、LD <sub>50</sub> = 50 mg / Kg
その他毒性	: IARC 1

---

環境影響情報

知見が見当たらない。

---

廃棄上の注意

法に基づく廃棄の方法に関する基準に従う。

廃棄方法（1）固化隔離法

セメントで固化し廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく規程により溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分を行う。

廃棄方法（2）焙焼法

法で指定された特別産業廃棄物処理業者に委託して、還元焙焼法により、金属ニッケルとして回収する。

---

輸送上の注意

1 t 以上を車両等で運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意書を交付する。

運搬に関しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

---

適用法令

- 水質汚濁防止法
- 下水道法
- 大気汚染防止法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（P R T R法）

---

引用文献

- (1) 水酸化ニッケル製品安全データシート（1997年版 東京化精株式会社発行）
- (2) 化学大辞典（1963年版 共立出版社発行）